



ニュースレター

Vol. 48

発行日 2007. 8. 20.

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

目標は達成できるでしょうか？

丸の内 くるみ

残暑お見舞い申し上げます。連日、猛暑が続いております。会員の皆様には、くれぐれもご自愛ください。

さて、遊学舎では、「利用者の声を生かした施設運営を」目指し、年2回利用者満足度調査を行っております。昨年度の2回の平均は、「受付対応」「講座内容」「利用時間」「設備内容」のどれをとりにしても、「満足」「まあまあ」「普通」を合わせると、90%を超えるものでした。

今年度は目標を掲げ、「受付対応」「講座内容」について「満足」と答えてくださる人が増えるよう頑張ることにいたしました。昨年度はそれぞれについて、「満足」が46.7%、48.0%でしたので、今年度はそれぞれ47.0%、48.5%を目標といたしました。

また遊学舎は市民活動の拠点でもあり、昨年度NPO・ボランティア活動、自治会・町内会活動による利用がそれぞれ36.2%、59.8%でした。今年度はそれぞれの利用がさらに増えるよう、36.5%、60.0%を期待値としたいと思っております。

会員の皆様も、“どんどん”ご利用ください。

NPO情報開示と発信力セミナー 開催

せんだい・みやぎ NPO センター代表理事加藤哲夫さんをお招きして、7月22日、セミナーを行いました。14時から是一般向けセミナー「NPO 情報開示と発信力セミナー」、18時からあきたパートナーシップの理事・職員向け研修「NPO とは、NPO 支援とは」です。

加藤氏の10年にわたる市民活動支援の経験をもとに語られるNPO論に、行政職員も、NPO関係者も、そして私たちパートナーシップの理事や職員も、一様に「良い研修を受けることができた」と感想を述べていました。

私たち NPO はこれからますます行政や企業や他団体と協働してミッションの実現に努めますが、その時にいかに自分たちの想いを相手に知ってもらえるか、そのためにはどのように情報を開示してゆけば良いかが、ポイントを押さえて説明されました。

わかっているようでわかっていないことが多かったと、このような研修を受けることの大切さを感じました。



ジュニア・サマースクール 開催

7月28日(土)、あきたパートナーシップ主催「ジュニア・サマースクール in 遊学舎」が開催されました。これは、平素、遊学舎で活動するサークルの人が講師となって講座を行ったものです。9講座が開催され、講師(ボランティア)20名と遊学舎ボランティア会の2名の協力を得て、参加者56名(親子参加希望者含む)で賑わいました。「もっと、色々な講座に参加したい」「楽しかったので、また参加したい」「自然の匂いがして気持ちがいい所だ」「親子で参加できる講座をたくさんして欲しい」などと、感想をいただきました。

いつになく、子供達が主人公の遊学舎でした。子供達の笑顔の後ろに、汗だくになって講師をしていただいた皆さんには感謝の気持ちでいっぱいでした。

(事業推進班 担当 千田)



患者塾 開催

さいとう神経科クリニックの斎藤院長を講師に迎えて、サンパル秋田(秋田ニューシティ5階)で8月5日(日)に第2回患者塾「うつの人への上手な接し方」がありました。テーマの「うつ」への関心が高かったのか予想以上の参加者(52名)でした。毎回好評の寸劇ですが、今回は我が法人演劇部花形女優2人の登場でさらにさらにグレードアップ。

参加者からは、今回のテーマ「うつ」についてもっと開催してほしいとの声が多数ありました。

(事業推進班 担当 武藤)

